

B-1 チャレンジタイム・チャレンジプリントの活用

チャレンジタイム（補充タイム）について

- ねらい ・個に応じたあるいはクラスに応じた 基礎・基本の学力（国語・算数中心）の定着を図り、学力の向上をめざす。
- 内容 ・対象は全員とするが、個に応じた内容・時間を考える。
（下校グループを考慮する）

3. 持ち方

学年	実施時間	応援者
1年	木曜日 5限	
2年	木曜日 5限	
3年	水曜日 6限	
4年	水曜日 6限	
5年	水曜日 6限	
6年	余剰授業内で	

チャレンジプリント（算数プリント）について

- プリント構成
 - 単元マスター（準備・整理・確認）は各教室にも置く。
 - 基本・応用・発展プリントは職員室前廊下にある。
- プリントの補充 職員室前廊下のプリント棚にある封筒に要望を書き、入れる。
至急必要な場合は、使用者が直接電話連絡 or 枚数分印刷
- 集金方法 （〇〇教材社） 1学期 340円×3
- 学習履歴 ファイルなど利用して綴り、保護者に見せる。
- 効果的な使用方法
 - ・ マスターはドリル的に利用。
 - ・ 基本・応用・発展プリントは単元終了時に利用。
 - ・ 夏休み・冬休みの課題として個に応じてチョイス。
 - ・ 下学年のプリントを個に応じて利用。
 - ・
- 留意点 職員室前廊下のプリントは教師が扱う。